

作物統計調査  
令和7年産水稻の収穫量（秋田）

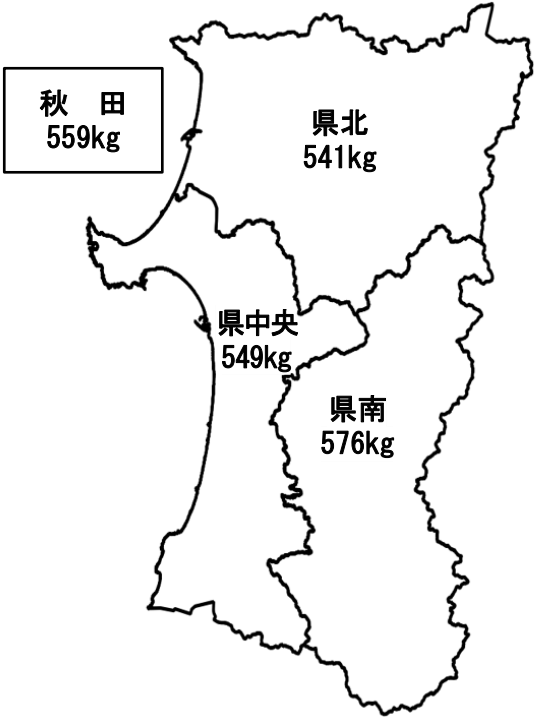
令和7年産主食用米の収穫量は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで45万3,900 t（前年に比べ5万5,400 tの増加）。

1 令和7年産水稻の生産者が使用しているふるい目幅ベースの収穫量（主食用）は45万3,900 tで、前年産に比べ5万5,400 t増加となった。

これは、作付面積（主食用）が前年産に比べ9,000ha増加の8万1,200haとなったことに加え、10 a 当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅ベース）は、8月及び9月に大雨があったものの、総じて天候に恵まれ、全もみ数及び千もみ当たり収量が前年並みとなったことから、前年産に比べ7 kg増加の559kgとなったためである。

2 作況単収指数は103となった。  
各作柄表示地帯の作況単収指数は表のとおりである。

図1 作柄表示地帯別10 a 当たり収量  
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）



参考

令和7年産水稻のふるい目幅1.70mmベースの収穫量（主食用）は47万7,500 tで、前年産に比べ5万7,300 t増加となった。

以上の内容について、10月25日現在の公表値から変更なし。

表 令和7年産水稻の作付面積（主食用）、10 a 当たり収量及び収穫量（収穫期）

区 分	作付面積 （主食用）	生産者が使用しているふるい目幅で選別			ふるい目幅1.70mmで選別			作況 単収 指数
		10 a 当たり 収 ①	対前年比	収 穫 量 （主食用（生産者ふるい上米））	10 a 当たり 収 ②	対前年比	収 穫 量 （主食用（生産者ふるい下米含む。））	
	ha	kg	%	t	kg	%	t	
秋 田	81,200	559	101	453,900	588	101	477,500	103
県 北	...	541	100	...	571	100	...	102
県 中 央	...	549	102	...	579	101	...	103
県 南	...	576	101	...	605	101	...	103

注：1 ①10 a 当たり収量は、過去5か年に生産者が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（秋田県は1.90mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。  
2 ②10 a 当たり収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。  
3 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10 a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く。）に対する10 a 当たり収量の比率である。  
4 作柄表示地帯別の作付面積（主食用）、収穫量（主食用（生産者ふるい上米））及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む。））については、新規需要米（飼料用を含む。）、備蓄米、加工用米等の作付面積を把握していないことから「…」で示した。

- 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 10a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅（秋田県は1.90mm）で選別された玄米の重量である。
- 10a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む。））は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である。
- 作況単収指数は、生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a 当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く。）に対する10a 当たり収量の比率である。

図2 令和7年産水稻作況標本筆の10a 当たり収量の分布状況（秋田）  
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）（収穫期）

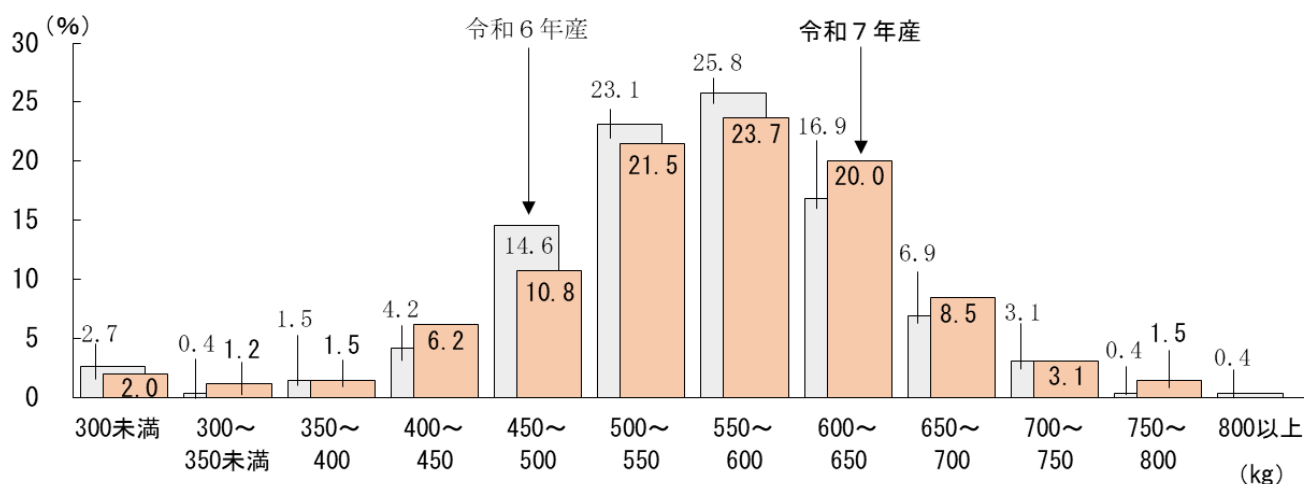
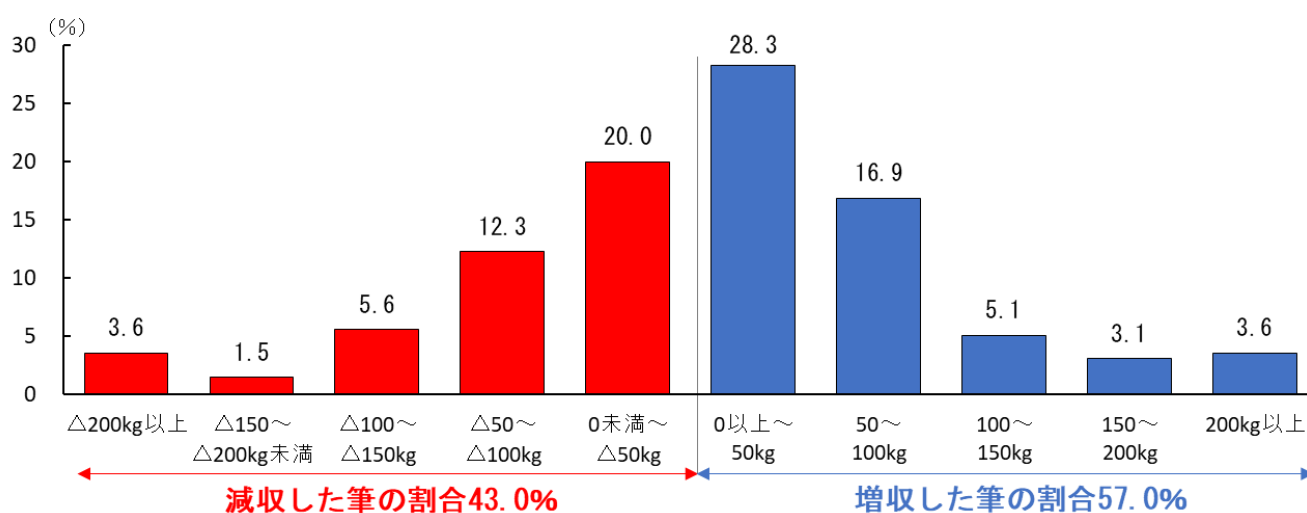


図3 令和7年産水稻作況標本筆の10a 当たり収量の前年差の分布状況（秋田）  
（生産者が使用しているふるい目幅ベース）（収穫期）



お問合せ先

東北農政局 秋田県拠点 統計担当  
電話：018-895-7303（直通） 内線 453